

循環器内科

概要

部長：古川 裕

スタッフ：13名

専攻医：7名

平均的な年間手技件数

検査等件数：冠動脈造影検査（PCI等は除く）	約500件
PCI総数	350-400件
緊急PCI	約150件
待機的PCI	200-250件
PTA（末梢動脈形成術）	約200件
カテーテルアブレーション	約600件
ペースメーカー（新規・交換）	100-150件
リードレスペースメーカー	10-20件
ICD（植込み型徐細動器）	約20件
CRT（心臓再同期治療）	30-40件
S-ICD（皮下植え込み型除細動器）	5-10件
ILR（植込み型心電用データレコーダ）	10-20件
大動脈ステント・グラフト*	胸部 約20件 腹部 30-40件
トレッドミル運動負荷心電図	50-100件
ホルター心電図	≒2500件
経食道エコー	500-600件
経胸壁エコー	約14000件
心臓血流シンチ（安静・運動・薬物）	約200件
心臓MRI	約150件
冠動脈CT（TAVI-CT時の同時撮影等含む）	1500-2000件
TAVI（経カテーテル大動脈弁植え込み術）	約100件
MitraClip（経皮的僧帽弁クリップ術）	10-20件
心臓リハビリテーション	外来≒3500件 入院≒19000件
*心臓血管外科と協働実施	

研究活動：学会発表 93（海外17、国内76）

論文発表 45（英文37、和文8）（研究活動は2023年度実績）

特徴

1. 新規入院に占める救急入院の割合が高く、急性冠症候群、急性大動脈解離、重症心不全など循環器緊急疾患の迅速な診断・治療を豊富に経験できるほか、弁膜症ほか循環器全般の症例も豊富である。

2. 医療面接・身体診察、非侵襲または低侵襲の検査（エコー、MDCT、核医学検査、心臓MRI）から侵襲的なカテーテル検査、冠動脈インターベンション、カテーテルアブレーション、デバイス治療やステント・グラフト、経カテーテル大動脈弁留置術（TAVI/TAVR）、経皮的僧帽弁形成術（MitraClip）、IABP、ImpellaやVA-ECMOなどの機械的補助循環装置を用いた重症心不全管理、心臓リハビリテーションによる包括的疾患管理まで幅広い研修ができる。
3. 学会活動・研究活動も活発に行なっており、専攻医にも国内外での学会発表・論文発表の機会がある。
4. 心臓血管外科はじめ他科とも緊密に連携し、患者に最適な治療を行う。

一般目標

1. 患者中心の全人的医療を行い、かつ循環器専門医としてオールラウンドな能力を習得すること。
2. 循環器学会認定専門医試験受験資格に必要な症例を経験すること。
3. 他職種のメディカルスタッフと協調して診療にあたり、医療チームリーダーとしての自覚を育成すること。

行動目標

- 1年目：**
1. 医療面接・基本的身体診察を習得する。
 2. 各種検査（エコー、トレッドミル、MDCT、心筋シンチ、カテーテル検査）をローテーションして検査手技と所見の読みのトレーニングを受ける。
 3. CCU患者の診療を主に学ぶ期間を設け、指導医のもとで集中治療に習熟する。
 4. 循環器当直にあたり救急疾患の初期治療を体得する。
- 2年目：**
1. 入院患者の検査・治療計画を責任者として立案する。
 2. 侵襲的検査・治療手技（経食道心エコー、診断カテーテル検査／カテーテルインターベンション）を指導医のもとでオペレーターとして行なう。
 3. CCUにおける集中治療を主体的に担う。
 4. 1年次専攻医およびローテート研修医の指導にあたる。
- 3年目 /**
1. 自身が担当する患者の全ての治療計画・検査計画・一般的な治療手技を主体的に行う。
- 4年目：**
2. カテーテル検査／インターベンションを主治医として責任を持って行なう。
 3. 学会（国内総会／海外）発表、論文作成を積極的に行なう。

*当科での研修が修了すれば自ずと循環器専門医に必要な経験／技能取得が得られる。

*2年目または3年目に、連携施設での研修も行う。

*4年コースでは、より多くの症例の経験、より高度な知識・技能の習得が可能である。

*初期研修で十分に経験できなかった他内科領域の症例担当は専攻医1年目に行う。

週間スケジュール (例)

	月	火	水	木	金
朝	CCU 回診 8 : 30	大動脈カンファレンス (心外合同) 第1,3週 8 : 00 弁膜症カンファレンス (心外合同) 第2,4週 8 : 00 CCU 回診 8 : 30	循環器内科・心外 合同カンファレンス 8 : 00 循環器脳卒中合同 オープンカンファレンス 年4回 8 : 00 CCU 回診 8 : 30	CCU 回診 8 : 30	CCU 回診 8 : 30
午前	心カテ	救急診療	心エコー	心カテ	心筋シンチ
午後	心エコー	救急診療	心カテ	心カテ トレッドミル	心エコー
夕方		循環器内科カンファレンス 17 : 00	心臓リハビリカンファレンス 16 : 45	心エコーカンファレンス 18 : 00	

専門研修プログラム

神戸市立医療センター中央市民病院内科専門研修プログラム全体に関しては、本書該当ページおよび当院ホームページをご参照ください。

URL : http://chuo.kcho.jp/recruit/late_resident

見学等問い合わせ先

古川 裕 : furukawa@kcho.jp